監に收監したるが引續き十日午前九時半同會幹事福住芳一を始め吉村浜造、廣安榮一、阪本炎、鳥居嶺等を小倉分監に收容したり而して判檢事の取調進行に從ひ一應放逐されたる檢東者中勞友會幹事山田榮造外二名九日午後四時以令狀を執行され八幡署内にて取調中

三勞働團の結束

白仁長官回答不徹底の場合には帝國議會に陳情

日本勞友會にては九日午後八時より同會幹事所にて協議會を開き今後の方針につき協議する處あり田崎理事より報告者釋放の顛末書起草委員選出の件、歎願書起草委員選出の件等を附議し友愛會に對する態度、福岡縣柏屋郡宇美村に本部を有し筑豐炭山全般に亘り會員の有する坑夫協會の授産を會員に報告し友愛會九州支部長藤岡文六、坑夫協會理事長川嶋、同幹事本田其他會員數氏の意見發表ありて同十時散會したるが友愛勞友兩會並に坑夫協會の意見を綜合するに今回製鐵所職工の爲したる五ケ條の要求は全部正當にして生活向上の爲め痛切なる叫びなりしを以て飽迄初志の貫徹に努めんが爲め右三勞働團體一致結合の上白仁長官に面會を求めて確答を求め長官の意見にして若し不徹底の事あらんか目下開會中の帝國議會を動かしても成功を見んとするものゝ如く既に三團體の結束固きものあり其勢力侮るべからず今後或は議會に於ける一問題たるやも知れずと觀測さる

兩會幹部と長官會見

幹部側諒解を得て各工場の實地視察

友愛會九州支部長藤岡文六、吉、會員藤岡文六、光吉、柳田直市、勞友會本部員相原住藏、藤東年の諸氏外一名は昨十日午後一時より製鐵所に白仁長官を訪ひ今回の問題事件に就き長官との初會の交渉並に抗議書申込み白仁長官中川次長と長官室に於て面會を爲し三時退出したるが木村、藤岡兩氏は交々語る「今回事件以來始めて長官に會見せるが其要件は種々あり第一苦々が最も不都合なりとて抗議を申出でたるは九十兩日製鐵所内各工場に職長等が職工を指揮して動せるごとにて職工の作業狀態を況あるを認めず一部の工場に於ては職長等官吏の引渡けを申出でたる事あり

勞友會幹部

八幡製鐵所全工場

平時の狀態に復す

職工就業振

警備警官の引揚

福日 二月十一

知事の慰問

白仁長官に見舞を述ぶ

西洋カブレでは困る

安河内福岡縣知事は十日午前九時十五分八幡署直に八幡署に入り齊藤警察部長小原野村兩警視等より製鐵所事件の經過を聽取する處あり午後製鐵所に白仁長官を訪ひ事件の見舞を述べ工場視察後警戒中の警官憲兵の慰問をなし同夕帰任したるが知事は八幡署にて記者に語つて曰く「怠業なんて西洋かぶれの今回の要求事項も西洋かぶれが多いやうだ第一勞働十時間なんて全く然うだが日本の勞働者は日本といふ國家を忘れてはならない八幡の製鐵所は日本の虎の子だのに今回のやうな騒ぎをされてはやり切れない大體普通の家庭でもそうだが三代續かなくては健全なものとは云へない職工でも親から子から孫と三代續いたもので小さい時から手鹽にかけた職工が居なくては斯んな場合非常の迷惑を感ずる譚だ」

幸袋製作所に煽動樂書

友愛會員却て憤る

製鐵所事件影響なし

嘉穂郡幸袋工作所は現在就業職工千餘名中友愛會員二百名内外有し居れるが今回八幡製鐵所大怠業事件勃發するや一部職工中同所友愛會員の憤起を促すべき煽動的樂書を工場内各處になしたるものありも知らずして友愛會員の感情を害し苦々同志は他の煽動を受け職長夫等の引渡しを申出でたる事にあらずして職工の職ありと云ふも職務[illegible]